ご挨拶

日本会計史学会会員のみなさまにおかれましては、ご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、このたび、本学会第40回大会を西南学院大学を準備校とし開催させていただくこととなりました。会員のみなさまに福岡の地にお出でいただき、本来なら記念すべき第40回大会を賑々しく開催したかったのですが、COVID-19の災禍は未だおさまる傾向になく、昨年度と同様にオンライン開催となったのは残念でなりません。

このような状況の下での開催となりましたので、今回は、記念講演や統一論題などのイベントを準備する代わりに、多くの会員に報告の機会を持っていただきたいと思い、すべて自由論題形式で実施することとしました。その結果、多彩な報告希望を得ることができましたことは準備委員会として大きな喜びです。また、各報告にはディスカッサント(討論者)の先生を配置し、そのコメント起点として、立体感を増したより質の高い議論が参加者間で展開されるものと期待しています。事前録画の配信ではなく、すべての報告と討論及び質疑応答は、ライブで行われますので、臨場感のある議論の場が形成されると思います。

国際学会や海外機関が主催するカンファレンスやセミナーなども、その多くがオンラインで開催されるようになり、コロナ禍においてはむしろそれらに気軽に参加できるという好変化を多くの本学会の先生方も経験されていることと思います。今大会も、これまでは種々の制約から参加を躊躇されたことのある会員のみなさまも、バリアを感じることなく積極的にご参加いただけるものと期待しています。

日本会計史学会第 40 回大会準備委員会工藤栄一郎 原口健太郎

オンライン学会参加の方法

- 1 学会参加費 無料 (ただし学会員に限ります)
- 2 メールでの連絡
 - (1)参加ご予定の先生はメールでお知らせいただければ幸いです

宛先:kaikeishi40@gmail.com(第40回大会準備委員会)

期日:10月20日(水)

(2) 報告資料等の送付

参加希望をメールで連絡いただいたみなさまには、ZoomのURL(下記) ほか、大会当日で使用される資料等を 10月28日(木)をめどにお送りします

- 3 参加方法
 - (1) Zoom を使用します
 - (2) URL 情報などは以下のとおりです
 - · URL:

https://zoom.us/j/92285025639?pwd=aG5oMEc1UUl4MWFJMjFrNXpDT3BHUT09

- ・ミーティング ID: 922 8502 5639
- ・パスコード:(郵送された冊子にてご確認ください)

なお上記情報は日本会計史学会ホームページ上でも掲記されますので、そちらから参加することも可能です

大会スケジュール

2021年10月30日(土)

9:30 Zoom 接続開始 10:00~10:05 学会長挨拶

10:05~10:10 準備委員会より運営の説明

研究報告セッション 1 (10:10~11:45) 司会 小栗崇資(駒澤大学)

① 野口翔平(日本大学)「Staveley Coal and Iron Company 設立時の割引現在価値による資産評価-1863年と1864年の会計記録を中心に一」 【討論者】 山田康裕(立教大学)

② | 喬雪氷(長岡大学)「江戸幕府の収入と支出に関する一考察」 【討論者】 工藤栄一郎(西南学院大学)

会員総会(11:50~12:35)

昼休み(12:35~13:30)

研究報告セッション2(13:30~15:05) 司会 戸田龍介(神奈川大学)

③ 岡嶋慶(拓殖大学)「日本における監査プロフェッションの形成―比較史からみたその独特性―」

【討論者】 異島須賀子(久留米大学)

④ 杉田武志(大阪経済大学)「イギリス東インド会社の複式簿記の役割ー私 貿易管理の観点から考えるー」

【討論者】 春日部光紀(北海道大学)

小休止(15:05~15:20)

研究報告セッション3(15:20~16:55) 司会 清水泰洋(神戸大学)

⑤ 小形健介 (大阪市立大学)「2000 年代半ばにおける日本基準の国際化推 進要因の分析」

【討論者】 大石桂一(九州大学)

⑥ 山口不二夫(明治大学)「Jardine Matheson 史料による Magniac 商会の 1821-25 年の財務データ」

【討論者】 小野武美(東京経済大学)

17:00 閉会

(敬称略)

研究報告セッションは、報告30分+コメント5分+質疑10分の45分で構成